

発行所

〒999-7601

山形県鶴岡市藤島字古楯跡221

山形県立庄内農業高等学校

瑞穂同窓会

電話 0235 (64) 2151

FAX 0235 (64) 2404

E-mail shono@shonai-ah.ed.jp

印刷所

J A 印刷山形



米コンテスト 高校生部門優秀金賞



平成27年度瑞穂同窓会総会

庄内農業高等学校校歌

作詩 土井晩翠
作曲 辻 順治

一、国の大本農の業

学び修むる庄内の
我が三郡の若き子等
ひたひたにかぎす象徴の
穂は千万の民の糧

二、鳥海月山羽黒山

水は名に負う最上川
山河自然の雄大を
朝な夕なに眺めつつ
浩然の氣を育つ子等

三、ああ庄内の農学の

校に集る若き友
感謝に満ちて天職の
清きを奉じ末遠く
その向上の道を追え

ご挨拶

校長
御船明彦

瑞穂同窓会の皆さまには、日頃より本校の教育活動につきまして御理解と御協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年度は総会において、新しく齋藤隆先生が同窓会長になら

ご挨拶

同窓会長
齋藤 隆

雪のない暖冬の正月、北朝鮮の水爆実験やサウジとイランの国交断絶など地球規模で先のない変化著しい新年を迎えました。瑞穂同窓会員の皆さまには、ますますご健勝で活躍のことと存じます。

れましたが、今年度は土井博前会長に感謝状が手渡された後、新しく顧問に就任いただくことが満場一致で承認されました。

土井先生は本校に教諭として二十四年、校長として二年、そして同窓会長として四年、お勤めいただきましたが、まさに今日の庄農を支えてきた功労者であります。心から感謝申し上げますとともに、今後とも庄農のためにご尽力をお願いしたいと存じます。

またここ数年の間に丸山良博先生、加藤忠彦先生、佐藤達夫先生、小松原伝先生、高橋勉先生、そして今年度は加藤正彦先

昨年、会長として初めて卒業式並びに入学式に参列いたしました。体育館フロアに整列している生徒数の少なさに寂しさを感じたことを覚えています。私達の時代は、六学級定員で旧体育館フロアに溢れんばかりの生徒がいました。少子化が進む中の母校は、三年後、入学定員が現行の三学級から二学級になることがすでに県教委から公表されています。五年後十年後、社会が変動する中、母校はどのような方向に舵をとりどの様な姿になつていくのか、多くの同窓生が心配なされることと思います。本会懸案事項の一つに支部体

生など、四十年以上庄農にお勤めいただいた先生方も相次いで退職なさることになりました。これまでの長年にわたる御苦労に對しまして衷心より御礼申し上げます。

さて各支部においては、藤島支部、八幡支部、上田支部、そして庄内町の集いにお招き頂きました。特に庄内町の集いは、初の試みとして旧余目町と立川町の各支部が合同で企画したもののことでしたが、総勢七十名以上の参加があり大盛況でした。そこでは母校の現状や今後の見通しなどについて、話をさせて頂きました。どこの会合で

制の充実があります。本会は、幅広い年代層と庄内広範囲に五十を超える支部があるなど、他校に類のない実情があります。その特性を踏まえた本会ならではの活動、新しい発想を加え成熟した体制の必要性を感じているところでもあります。十二月に開催された支部総会初の庄内町合同総会は、今後の活動の在り方の一方策を提示してくれたものと関心を寄せているところでもあります。

一月、山形新聞「若者の声」で庄農生が「農業の魅力伝え守りたい」地域の担い手として就農し、専業を営みたい。と言う力強い意見が掲載されていました。

も、校歌を高らかに歌う声には、母校への誇りと期待が感じられて、胸が熱くなった次第です。

またそれとは別に、昭和三十五年卒業の私的な会である「最上川サークル」にもお招き頂きましたが、何と五十年も続いているとのことでした。私の従兄弟も同じ年の卒業ということが分かり、また盛り上がりました。庄農を取り巻く状況は必ずしも良いものとは言えませんが、同窓生の皆さまには今後ともこの庄農を支えて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

夢の持てる農業を目指して母校に進学してくれる後輩達、どんな時代を迎えようとも地域から愛され必要とされる学校でありたいものだと思えます。

五月には、御船校長先生と置賜農業高校創立百二十周年記念式典に出席いたしました。地元川西町との連携を深めながら、地域と共に地域づくりの発展に寄与してきた伝統と歴史の重みを強く感じたところでもあります。母校も間もなく、創立百二十周年を迎えます。母校の発展を願う母校の頼りになる応援団として支援していきたいと思えます。よろしく願います。

総会報告

六月二十九日(月)瑞穂会館において総会が開催されました。

(一) 平成二十六年事業報告並びに決算報告について・会計監査報告

① 平成二十六年度瑞穂同窓会基本金積立金決算
② 平成二十六年度瑞穂同窓会経常費収支決算

(二) 平成二十七年事業計画並びに予算案について
(三) その他

(一) について
原案通り承認されました。

(二) について
会計の節約をどうするか事務局で話し合つてほしいという意見が出されました。原案通り承認されました。

(三) について
① 齋藤隆会長より顧問として土井博前会長の推薦があり、承認されました。
② 事務局より、卒業して一年間は同窓会報を直接郵送したいという提案があり、承認されました。
(記録・佐竹 正浩)